

計画の名称	生駒駅周辺 都市再生整備計画事業（まちなかウォーカブル推進事業）												
計画の期間	令和06年度 ~ 令和08年度（3年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	生駒市												
計画の目標	大目標： 生駒の個性や魅力あふれる都市拠点の形成 目標1：居心地のよい場が通りでつながり、ウォーカブルで滞在したくなるまちの実現 目標2：市民の生活を豊かにする都市機能の集積 目標3：生駒市の玄関口および宝山寺の門前町としてふさわしい観光振興と、商業的にぎわいの創出												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	48	A	48	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (令和4年)	中間目標値	最終目標値 (令和8年)
1	滞在快適性等向上区域内の主要な通りでの昼間(10～18時)滞留者数を、R5年度実績の168人から、R8年度実績で200人に増加させる 滞在快適性等向上区域内の主要な通りにおける、昼間(10時～18時)の滞留者数	168人/8時間	人/8時間	200人/8時間
2	滞在快適性等向上区域内における、公共空間や既存ストックを活用し、公民連携もしくは民間が主体となって実施する事業数をR4年度実績の20事業から、R8年度実績で24事業に増加させる 公共空間や既存ストックを活用し、公民連携もしくは民間が主体となって実施する事業数	20事業	事業	24事業
3	滞在快適性等向上区域内での社会実験等を踏まえた上で、近隣住民や来街者、地権者等を対象に実施する滞在快適性に関するアンケートにおいて ウォーカブルなまちを希望する声の割合を令和4年度実績の23.2%から、R8年度実績で28.0%に増加させる 望むまちの将来イメージを聴く市民アンケートにおいて、ウォーカブルなまちを希望する声の割合	23%	%	28%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R06	R07	R08	R09	R10				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	生駒市	直接	生駒市	-	-	都市再生整備計画事業(生駒駅周辺地区)	37.8ha(16.9ha)	生駒市						48		策定済	
												小計						48		
											合計						48			

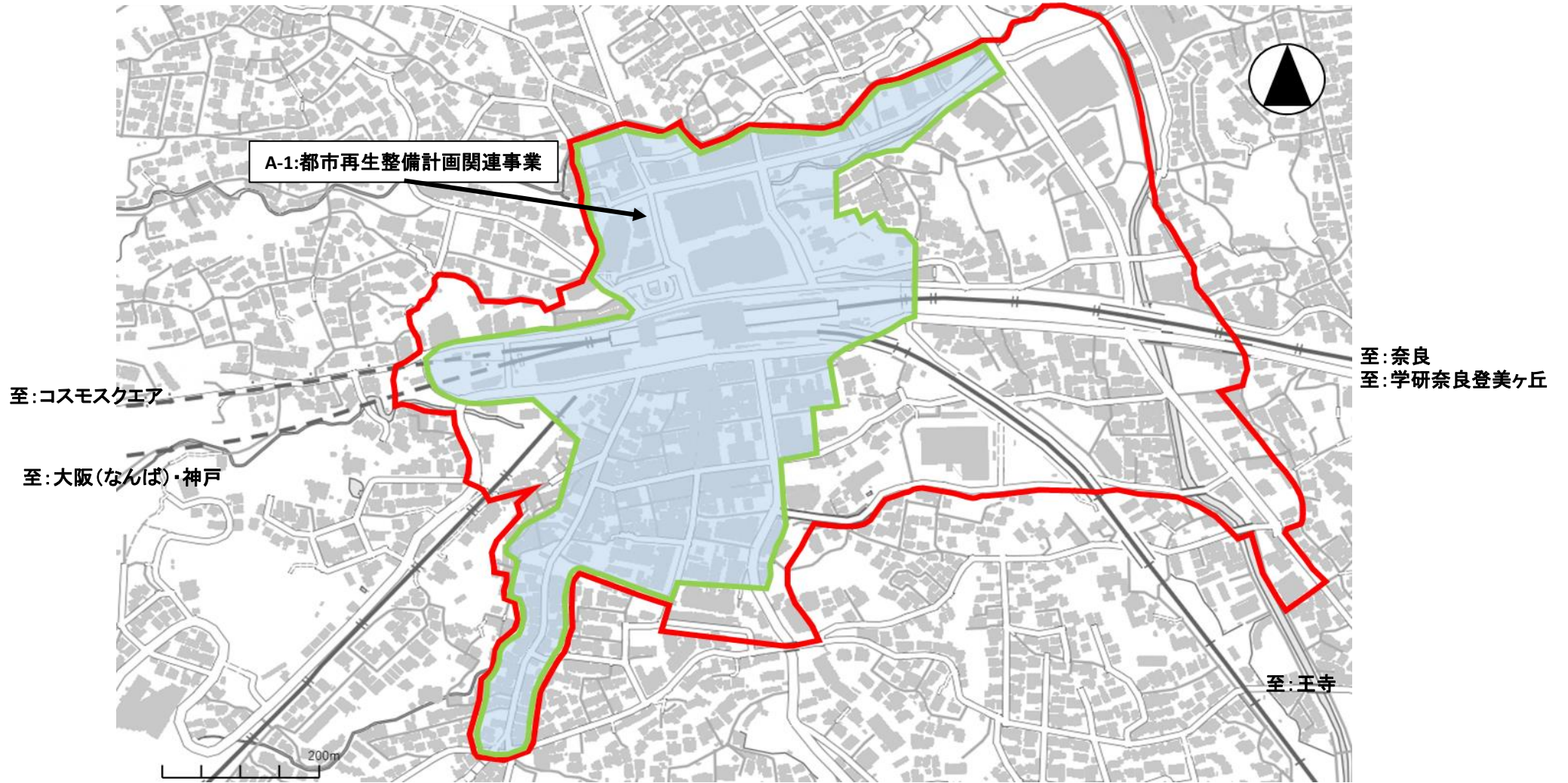
交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R05				
配分額 (a)	0				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	0				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	0				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額 (g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

(参考様式3) 参考図面 (社会資本整備総合交付金)

計画の名称	生駒駅周辺地区		
計画の期間	令和6年度 ~ 令和8年度 (3年間)	交付対象	生駒市



至: 宝山寺・山上遊園地など

- : 社会資本整備総合計画区域  
兼都市再生整備計画区域
- : 滞在快適性等向上区域